

脳週間プログラム：脳の不思議を体感する

日時： 3月26日(木)、13:00～16:00

場所： コラボステーションⅡ 1階・コミュニケーションラウンジ（地図参照）

申込先：aki@neurophy.med.kyushu-u.ac.jp

までメールでお申し込み下さい

内容

1. 展示コーナー（13:00～14:30）

1) ミクロの脳宇宙を覗く（担当：医学研究院・神経形態学教授・小坂俊夫）

大脳に140億個もある神経細胞—それはまさしく天空に輝く星のようです。脳を構成しているさまざまなニューロンやグリアの形態を光学顕微鏡・レーザー顕微鏡および電子顕微鏡写真で覗いてもらいます。

2) 壊れゆく脳（担当：医学研究院・神経病理学教授・岩城 徹）

超高齢化社会の日本では、認知症が大きな問題です。記憶力や判断力の低下をもたらす脳の病気（アルツハイマー病など）と脳神経細胞の壊れゆく過程を知ってもらいます。

2. 体験コーナー（14:30～16:00）

1) 脳はなぜだまされる（芸術工学研究院・画像設計学准教授・伊藤裕之）

特殊な図形を見たとき、実際の大きさや形が異なるように認識されるのはなぜでしょう。脳をだますことは、脳の働きを知ることです。錯視の知覚心理学をデモで実感します。逆さメガネをかけて上下逆さの不思議も体験できます。

2) 脳波って何だろう（医学研究院・臨床神経生理学教授・飛松省三）

ボランティアを募り、実際にその人の脳波を記録します。リラックスしたときのアルファ波、頭を使ったときのベータ波が時々刻々と変化する様子を体験してもらいます。磁気刺激により無痛性に手や足が動くことも体験できます。

* 参加者は展示コーナー、体験コーナーを順にみてもらいます。

* 参加者が多いときは、2グループに分けて入れ替えを行います。

* スペースの都合上、最大で50～60名程度の参加を考えています。

アクセスマップ



問い合わせ先：九州大学大学院医学研究院臨床神経生理

飛松省三 tobi@neurophy.med.kyushu-u.ac.jp